

令和 8 年度 第 1 回建設事業外部評価委員会 議事要録

1 日時

令和 8 年 8 月 7 日（金） 14：00～16：40

2 場所

神戸市役所 1 号館 AV1 会議室

3 出席者

委員：太田委員、織田澤委員、島田委員、橘委員、馬場委員
事業所管課：建設局道路工務課、建設局下水道部計画課、建設局公園部整備課、
都市局駅まち推進課、都市局未来都市推進課、都市局内陸・臨海振興課、
都市局まち再生推進課、都市局工務課
事務局：建設局技術管理課

4 議事

（1）令和 8 年度建設事業外部評価委員会の運営等

- ・神戸市事務事業外部評価委員会及び建設事業外部評価委員会に関する規則第 2 条第 1 項に基づき、委員の互選により太田尚孝委員が会長に選出される。
- ・上記規則第 3 条第 3 項に基づき、太田尚孝会長より、馬場美智子委員が会長代理に指名される。

（2）審議

- ・市長からの審議依頼書の提出を受け、再評価 1 件、事後評価 9 件について、市より評価内容の説明を受け審議を行った。

（3）その他

- ・第 2 回委員会は、神戸市役所 1 号館 14 階 AV1 会議室で、令和 8 年 10 月 16 日（金）14 時から開催予定。
- ・委員会資料及び議事要録については、神戸市ホームページに掲載し公開する。

5 審議内容

1) 一般国道 428 号 箕谷北 (建設局道路工務課)

委員	貨幣換算困難な効果として、「ドライバーの安全性・安心感の向上」を挙げているが、安心感の向上とはどういうことか。
事業所管課	現道は狭隘で、片側が河川、もう片側が崖と近接しており、土砂崩れや倒木等の災害もあった区間で、対向車との接触の心配もあり、運転をしにくい。 数値化はなかなか難しいが、バイパスができることにより、安心して余裕を持って運転ができるようになるということを表現している。
委員	ドライバー目線で道路の状況が視覚的に変わってくることによる心理的負担の減少ということか。 安全性は客観的なもので、安心感はドライバーの心理的なもので、その両面からの効果という考えでいいか
事業所管課	そうである。
委員	前回の再評価が令和 6 年で、今回 2 年という短いスパンでの再評価となっている。事業費の増加額としては、それほど大きいものではないが、再評価を実施することになった理由は何か。
事業所管課	本事業は、事業期間は令和 10 年までと対外的にも発表をしていたが、今回説明の通り、事業期間が延びることとなったため、市民への影響が大きいと判断して再評価を実施することにした。 ご指摘の通り、全体事業費に対して今回の増額分の割合は低いが、B/C については今回改めて算出した。
委員	費用便益分析に関連して、「交通事故減少便益」があるが、交通事故は過去どれぐらいの件数あったのか。 また、自動車・歩行者の通行量はどれぐらいか。
事業所管課	最新の交通事故の件数は、手持ちの情報で持ち合わせていないので、確認

する。

交通量については、自動車は現在約 14000 台/日、歩行者は約 500 人/日。歩行者については、青葉台の団地からの児童の通学路にもなっており、青葉台口から小橋の交差点区間は、通勤・通学の時間帯に歩行者が多い。バイパスが完成したら、歩道の拡幅も予定している。

委員 貨幣換算困難な効果の①④では、参考として便益の数値が算出されているが、B/C の便益 (B) に入れないのはなぜか。

事業所管課 算出の手法が確立されておらず、既存の 3 便益（交通事故減少便益、走行時間短縮便益、走行経費減少便益）に比べると精度が高くないため、便益 (B) からは除いている。

2) 神戸市公共下水道事業～ひと・都市・地球環境を守り育てる下水道をめざして～

3) 神戸市公共下水道事業～安全・安心のまちづくり～（防災・安全）

4) 神戸市公共下水道事業～浸水に強い安全なまちづくり～（防災・安全）（重点計画）
（建設局下水道部計画課）

委員 2025 年度の国の特別重点調査の結果、神戸市で必要な対策箇所が 2km 程度とのことであったが、この対策を行う区間は、管路の耐震化の対象と重なっているのか。

事業所管課 国の重点調査の対象は、管径 2m 以上の規模の大きな管路となっている。一方で、今回の計画で実施した耐震化の対象は、防災拠点・避難所等の下流になる管路で、2m を超えるものはないので、国の調査で対策を行う管路は含まれない。

委員 管路の耐震化には、管そのものの耐震化に加えて、管の周りの土の締固め直しなども含まれるのか。

事業所管課 管路の耐震化の考え方としては、地震動を与えて管が持ち堪えられるかということになるが、まず土質の状況を確認し、管にどのような力が加わるかという土質条件を考慮した管の設計を行っている。

東日本大震災以降、新たに締固めの基準ができ、神戸市においても基準に従い施工しているため、陥没・液状化が起これにくい状態になっている。

委員 目標未達成の要因はわかったが、今後それが達成できる見込みはあるのか。

事業所管課 予定よりは遅れているが、次期整備計画で実施・完了予定となっている。

5) 公園事業特定計画調査（建設局公園部整備課）

委員 今回の事業の二つ目の目標である拠点 10 公園の設定については、7 公園をまず整備していて、残りは社会情勢を見ながら決めていくということであった。
拠点公園は、どのような根拠、基準のもと選ぶのか。

事業所管課 KOBE パークリノベーションの中では、各区 1～2 か所、人の集まりやすいところで、整備することで区の魅力もアップするようなところを候補に選定した。そのうち 7 公園を整備する中で、コロナもあり、生活様式も変わり、地元の方から別の公園を選んでほしいなどの意見も出てきて、今時点で 10 公園を決めきれないと判断した。
今後、社会情勢も見ながら選んでいくときには、規模は近隣公園以上のもので、利用頻度の高い公園を拠点公園として、その時に必要な整備をしていく。

委員 どのようなプロセスで、10 公園を設定するという指標の見直しが行われたのか。

事業所管課 公園緑地審議会の部会で議論をする中で、公園の設定については社会情勢やニーズに柔軟に対応することが必要となり、元々の計画との齟齬がでてきて、新たに公園を計画に明示するのが難しくなった。

委員 指標の変更についてのプロセスは妥当だと思う。
本来計画で審議する内容を、先回りしてこの事業の指標として入れてしま

ったというような感じに見えるので、今後、このような事業に対して、もう少し丁寧に指標の設定をしてもらえたら、何を審議するのか明確になる。

委員 全体事業費 3000 万円の内訳はどうなっているか。どのような事業なのかわかりにくいので、内訳があるとよい。

事業所管課 内訳は、基本計画の検討に約 800 万円、基本計画策定に約 1200 万円、デザイン業務・衛星データ納品等に 900 万円となっている。資料に追記する。

委員 大きな公園は、防災拠点にもなりうると思うが、防災面の検討もしているか。

事業所管課 防災減災に関しての記述もあり、南海トラフ地震にむけて、「災害に強い森づくり」という視点も盛り込んでいる。

6) 都市構造再編集集中事業 神戸・神鉄沿線地区（都市局駅まち推進課）

委員 現状を踏まえて、当初設定された目標自体を考え直して、評価を行っている。この事後評価の知見を今後の目標設定に生かしていただきたい。当初設定の目標は、新しく流入する人に着目しているが、既存住民の便益も当然あるはずなので、事業効果を漏らすことなくアピールしていただきたい。

事業所管課 地形的に新たな転入拡大が見込めない地域であるので、転入があったということは、転出があつて土地が空いたということなので、今後の分析でどのような転出があったかは見ていきたい。

委員 新規住民が入ってくるのは、新たな住宅整備が行われるということだが、人口減少の中で流入を起こすには、既存住民の満足度を上げる必要がある。住民へのアンケートも検討しているとのことだが、住み続けている人の満足度に関する調査などしていただくと変化が見えてくると思う。

事業所管課	アンケート実施の参考にさせていただく。
委員	この地域では、有馬高槻活断層というリスクがあるが、この事業の中で議論はあったか。
事業所管課	活断層の議論は、特にされていない。 沿線のまちづくりのために地域活動に市が参画している地区において、日常の避難訓練を習慣づける取組なども実施されており、防災意識の向上が見受けられる。また、地域の方から学校の跡地活用の中で、防災拠点としての機能を残そうという意見も出ている。沿線全体のまちづくりの中で、今後防災面を検討していきたい。
委員	人口減少の時代に、郊外のまちづくりをするのに、果たしてどういう目標設定が適切で、それが社会にとって有用かを改めて考えないといけないと感じた。 人口を維持することにどれほどの価値があるのかを考えなければいけない。むしろ満足度や個人の幸せをはかることの方がはるかに有用であるという示唆もあったので、今後に生かしてほしい。
事業所管課	住民の満足度をどう上げていけるのか、ソフト的な取り組みもあわせて検討していきたい。

7) 都市構造再編集集中事業 神戸・兵庫運河周辺地区（都市局未来都市推進課）

委員	当初の指標に加えて、追加で指標検討をしたのは素晴らしい取り組みである。 近年、兵庫区自体の人口増えているが、特にこの兵庫運河周辺で増えているのか。人口増加の要因として、この事業以外にも何かあるか。
事業所管課	ご指摘のとおり、この地域では人口が増えている。 要因としては、単身者が多く住むようになったことが挙げられる。三宮で働く単身者もいるし、兵庫運河周辺は大きな産業もあるので、この地域で働く単身者も増えている。

委員 ライトアップなどの取り組みは、若い人には魅力に感じる部分だと思う。
単身者が増えたのは、この事業の効果もあったと考えられるか。

事業所管課 単身者だけでなく、新たな住宅を求めるファミリー世帯も多い。特に、イ
オンモール神戸南のあたりはファミリー層が滞在するエリアになってお
り、事業により環境がよくなった結果と言えると思う。

委員 周辺的环境をいかに魅力的にしていくのか、ということが効果を中長期的
に発現していく鍵になる。
面的整備は難しいにしても、何か周辺への波及効果も考える上での取り組
み、今後の見通しはあるか。

事業所管課 今回の整備により、回遊性向上は進んでいる状況である。イベントの回数
も示したが、これからはソフト的なところが大切になると考えている。最
近の傾向として、地域住民が主体となるイベントが増えているので、行
政として、地域と産業とが連携できるようなまちづくりを促していきたい。

8) 都市構造再編集集中事業 神戸西神中央地区（都市局内陸・臨海振興課）

委員 誤字修正（「コロナ渦」→「コロナ禍」）

委員 全体的に目標達成しているが、図書館については設定の目標がやや高か
ったようにも思う。
図書館は、立地が街の中心部からやや離れていても、近年若い方々が集ま
るところになっているので、西神中央においてもにぎわいの一つになっ
ているのは間違いないと思うので、引き続き魅力向上に努めていただけたら
と思う。
今後のまちづくりとして、若年層へ遡及できる魅力も重要だが、ある程度
の人数ボリュームがあり、経済的余裕のあるもう少し上の年齢層にも魅力
のあるまちづくりを考えてほしい。

事業所管課 この事業はいったん完了となるが、引き続き地縁団体とも意見交換を重ね
ながら、ソフト対策も行っていきたい。また、西神中央のみにとどまらず、

地下鉄沿線の他の駅も含めて継続的に進めていきたい。

- | | |
|-------|---|
| 委員 | <p>この地区は大変うまくいっている事例だと思うので、ぜひ市内他の地区にも得られた知見を横展開してほしい。</p> <p>図書館については、原因検証するとすれば、名谷図書館も開設されていて、利用者が分散したかもしれない。</p> <p>複合型の集合住宅の誘致という政策に共感する。また、ニュータウンに賃貸の住宅をつくっていくのも重要だと考えている。どのような賃貸なのか。</p> |
| 事業所管課 | <p>西神中央地区はほとんどが分譲で、賃貸住宅がほとんど存在しない状況だったが、令和7年に市有地を活用して賃貸住宅を誘致したところ、非常に反響大きく入居率ほぼ100%で、若いファミリー層が入ってくれた。</p> <p>いったん賃貸でこの地区に住んでみて、本当に気に入ったら付近で分譲を買うというニーズがあるのがわかってきた。</p> |
| 委員 | <p>政策として非常によかったと思う。</p> <p>今後、戸建ての賃貸というような選択肢も増えてくるといいと思う。</p> |
| 委員 | <p>三田市ではファミリーが住んでいて、近くに親を呼び寄せるみたいな動きも起きていると聞く。少し小さめの賃貸住宅の需要もあると思う。</p> |
| 事業所管課 | <p>他都市の事例も研究する。</p> |
| 委員 | <p>この評価を通じて、事業の妥当性、今後の展開を考えてほしいということに尽きる。</p> <p>この地区では、想定通りか、想定以上の成果が出ている。西神中央には潜在的な条件が整っていて、すぐ他の地域に転用はできないとは思いますが、ここで得られた知見を他のニュータウン再生に活かせるように、西神中央だけにとどめておかず、中長期的に精査をして何がクリティカルにきいていたのか分析してほしい</p> |
| 事業所管課 | <p>引き続き検証し、他地区のまちの特徴も捉えながら考えていきたい。</p> |

9) 密集市街地総合防災事業 灘中央地区（都市局まち再生推進課）

- | | |
|-------|--|
| 委員 | 貨幣換算が困難な効果として挙げられている防災の継続的な取り組みは大変重要であると考えている。地域の防災組織が立ち上がった、活動が活性化されたり、何か継続的な防災の取り組みにつながる動きはあるか。 |
| 事業所管課 | 防災組織が新たにできたということはないが、商店街の組合を中心に活動している。防災空地がまとまって整備され、植栽を置くなど、地域の人々が集う工夫をしている。また、まち歩きもさかんである。人が変わっても続くような継続的な支援をしていきたい。 |
| 委員 | 空き店舗を防災空地にするのに補助が出るのか。 |
| 事業所管課 | <p>この密集市街地総合防災事業でも、住宅市街地総合整備事業でも、防災空地整備を行うために補助金を充当できる。</p> <p>仕組みとしては、市、土地所有者、日常の管理団体の三者で防災空地について合意したら、建物の除却費用を補助する。空地の活用についても補助があるので、所有者の負担を少なくできている。</p> |
| 委員 | 灘中央市場は歴史もあり培った文化もあり、再整備は難しいところだと思う。みなさんの意向はどのようなものであったか。また共同化よりは防災効果は薄れる部分もあるが、折衷案として個別建替を提示したとのことだが、その実現見通しはあるのか。 |
| 事業所管課 | <p>今後の展開として、建替等の手法による防災事業を今すぐ実施するのは難しいと考えている。費用の問題等もあり、権利者の合意を得るのが難しく、範囲を狭めての共同化や、さらに個別建替というところまで市から提案はしてきたが、事業として早期の実施は困難と判断した。安全・安心なまちづくりについては、引き続き様子を見ながら取り組んでいく。</p> <p>この地域に限らずだが、まちの魅力は大事にしつつ、人の入れ替えも促進しながら、密集市街地の取り組みを進めたい。</p> |

10) 連続立体交差事業 阪神電鉄本線（住吉駅東方～芦屋市境）（都市局工務課）

- | | |
|-------|---|
| 委員 | 長きにわたる事業が無事完了し、B/Cの数値も高く効果を実感している。
このような事業で、電線共同溝の便益は入れずに、費用だけ入れてしまうことがある。本事業ではしっかりと便益が入っているので問題ない。 |
| 委員 | これだけ社会も流動的な中で長期にわたる事業が行われると、当初目標を設定しても、事業を取り巻く社会情勢が変わってくることもあると思う。事業評価担当した立場として、何か市政・事業推進に関する示唆はあったか。 |
| 事業所管課 | 今回評価に使った3便益については、昔から不変のものであるが、連続立体交差事業の特徴として貨幣価値困難な価値がたくさんある。時代の変化に併せて、新たに生じた価値も柔軟に加えて、効果を見出していくのがよいと感じた。 |
| 委員 | 長期間の事業で、何度も再評価にも関わった案件で感慨深い。
再評価を経るごとに委員会での意見も取り入れてもらいながら内容が充実してきて、委員も一緒に作っている感じがした。 |
| 委員 | 貨幣換算が困難な指標である交差道路の効果は、最近、都心三宮で検討に使っている人流シミュレーションのようなものを使えば、南北の人の流れを視覚化でき、防災力向上を数値化などできるようになるかもしれない。 |
| 事業所管課 | 今後参考にさせていただく。 |

全体を通じて

- | | |
|----|--|
| 委員 | 全体を通して、いい形に仕上がったと思う。それぞれの事業担当者が工夫して、事業の効果を自分事として考えることが重要であり、これをぜひ続けて、他にも広げていただきたい。 |
|----|--|

委員

貨幣換算困難な価値が副次的な扱いになりがちだが、そうではない。新しい技術、新しい測定方法を取り入れていただきたい。

事業評価は、複合的で多面的で、一つの指標ではかることはそもそもできないものである。神戸市ぐらいの街の規模であれば、国のマニュアルを参考にしながらも、神戸市に即した新しい形で、市民そして市を訪れる方の利便性・快適さ・満足度が上がるような事業をするための評価指標を考えていただきたい。またそれを委員も一緒に考えていくことが必要だろうと思う。

以上